



①日本の富士山麓でシードバンクの活動をしています。



②私の家にあるシードバンクの写真です。ここに色々な種を保管しています。



③2年前、カフェにシードバンクの拠点が増えました。在来種の種で壁画を作りました。



④私たちの仲間の有機農家の畑で種を採っている写真です。



⑤「世界一時間のかかるみそ汁づくり」というイベントをやっています。大豆の種まきから始めて、味噌を作って、みそ汁の具になる野菜づくりをしました。約1年半かかるみそ汁づくりです。



⑥子どもたち含めて、たね取りを体験するイベントもしています。



⑦自家採種に取り組む農家のところに、都会から行く体験ツアーもしています。



⑧農業と福祉が連携するイベントです。一緒に畑の作業をしたり、種をとったりしています。



⑨シードバンクの棚田です。200年前から続く棚田を借りて、古代米や在来種の種を数種類植えて、種を繋いでいます



⑩子どもたちとお米の種を撒きます。田んぼの作業は全て手作業で行っています



⑪子どもたちと田んぼのあぜ(土手)を作る写真です



⑫田んぼの作業は全て手作業で行っています



⑬これはシードバンクの、タネをつなぐ畑です。ここで様々なタネを未来につなげています。



⑭学校の授業でもシードバンクの授業をしています。学校の畑で生徒たちと地域の種をつないでいます。



⑮有機農家の仲間と一緒にオーガニック給食への取り組みもしています。



⑯タネとミツバチの関係は密接で、それは私たちの命にも関わっています。なので、ミツバチの養蜂にも取り組んでいます。

Kazumasa SUZUKI

